

=第2回= 生活支援サポーター養成講座

5/13・5/26・6/16の3日間で、生活支援の支え手のための講座が開催されました

テキスト第2章 §6 のリスクマネジメントを担当しました。「地域で人の役に立つ事をしたいなあ」と（私も含めて）望む方々に出会う機会が最近、増えてきました。このテキストを何回も読む度に「住民主体型生活支援にはルールが大切」と実感しました。クレームに対応していた昔の体験も頭をよぎり、新しい仲間と「そのルールを共有したい」という思いで、原稿を作りました。「1件の重大事故は、急に起こるのではなく、前触れが29件あり、その前兆として小さな出来事が300件ある」というハインリッチの法則を通じて、生活支援におけるリスクマネジメント例を伝えました。リスク要因として3分野をあげ、今回は「サポーター側要因」に絞りました。反社会的な行為は絶対にしないという耳障りの悪い箇所ですが、人と関わる時の大原則なので、声に力が入ります。それは自分をも律しているからです。今回は手洗いの実習が出来ませんでしたが、また皆さんと一緒に勉強したいし、新たな生活支援サポーターと一緒に地域貢献を楽しみたいです。

生活支援サポーター 竹下美貴子さん（リスクマネジメント担当）

<アンケートより> 参加者の感想

- 介護保険制度について、今まで何度聞いてもよく理解できなかったが、今回改めて聞けてよかった。自分ができることは極力したい。
- 退職してから家にいるのもどうかと思い、自分にできることはないか、高齢の親を理解するために受講した。いずれはこの仕事に携わっていきたいと感じた。
- 親が高齢になり、介護保険制度や生活支援、関わり方を学びたいと思い受講した。生活支援を行ってみたいと思った。
- 「生活支援の現場から」の講義は実体験の話であり心を打たれた。親や自分のこれからを考えながら聞いた。今は地域貢献できる状況にないが、できるようになった時にやりたい。今後、高陽地区で安い費用で介護についての講座があれば受講したい。
- 親の高齢化に伴い、興味をもち受講した。勉強したことをムダにしないよう今後に生かしたい。
- 利用者さんに心待ちにしてもらえるような人柄をめざしたい。
- 両親の介護を通じての反省から受講した。
- 体力のある限り地域支援活動を続けたいが、生活支援自体は難しい。

興味深かった講座

介護保険制度、リスクマネジメント、高齢者の身体の変化と認知症の理解、生活支援のための知識と技術、緊急時の対応法、生活支援の現場から

高齢者の身体の変化と疑似体験から ～サングラスで見えづらくし、腕の重りと軍手をつける～



小銭を財布から取り出す



ペットボトルの蓋を開ける



消防署による緊急時の対応
参加者ひとりずつ心肺蘇生などを実習
できたため好評でした

安佐北

「くらしの相談支援 サロンみのり」ミニ勉強会 「住宅防火」 （4月23日）

安佐北消防署予防課田中主査から「住宅防火」について話をお聞きしました。毎年、住宅火災により尊い命が失われており、その約半数以上が65歳以上の高齢者となっているとの事。改めて火災の原因や対策を知り、大切な命や財産を守っていかうと気が引き締まりました。地域の参加者14名からも体験談や質問が飛び交い、すぐに役立つ対応策を知ることでもできました。

参加者の声

- 自分は大丈夫と思っていた。冷蔵庫の後ろのコンセントの掃除や住宅用火災警報器の電池交換をすぐに行います（Kさん）
- 消火器のメーカーをすぐに確認します（Tさん）
- 身近な問題であり、雰囲気も質問し易かった（Yさん）等



=サロンみのり：今後の予定=

サロンみのりでは、みのりミニ勉強会、趣味の作品展示、心配事の相談、お話相手などの活動を通じて、気軽な集いの場作りを続けていきます。

月～土曜日 10～16時（随時半日）

サロンサポーターがお待ちしております。

（お問い合わせ：082-842-2011 広島市安佐北区亀崎 1-2-33）

「もったいないセール」の手伝い

今年の1月の事です。旧段原内科医院長 角田さんの姪御さんから「高齢である叔父の物をバザーに出したい。収益は地元自治会に寄付し、叔父は地域の方々に恩返しをしたいと願っている」という話をお聞きしました。畑山税理士から「安佐北メンバーでバザーを手伝って貰えないか」と言って下さったのがきっかけで、今回の活動に繋がりました。5/4～5/6、比治山集会所において「もったいないセール（バザー）」が行われ、段原山崎町内会の皆様と一緒に、準備や片付けを行いました。更に、奥様が生前に描かれた墨絵の展示も実現しました。今回は、「ひとりの人生終末期の願いを実現させる」為のお手伝いの機会に巡り合いました。安佐北メンバー（今回は3人）は、とても良い時間を共有させて貰ったと感じています。



家族信託勉強会

6/9、6/16（計2回） ※7/7は中止

6月9日（土）民事信託の基礎

講師：畑山秋良監事

【感想】

今までの介護経験から困ったことがたくさんあったので、制度や知識を身につけておかないかという反省から勉強をしている。海外にいる国際結婚した友人（イギリス、オーストラリア、フランスなど）は、遺言や信託が一般的なようでとても身近なものようだ。夫婦は別々に信託をおこなうもので、先にどちらが亡くなったらどうする、その逆はなどといったように色々なケースで考えてある。実際に私にペットのことを信託されている。きちんと勉強してみたいと思っていたところ、この勉強会がおこなわれた。自分のスキルアップと心穏やかに過ごすため勉強している。（Iさん）

「信託って難しそう・・・と言われるけど、もしあなたが海外旅行に行くときペットはどうするん？信頼できる人に預けん？それが信託よ」の畑山先生の一言に「信託ってそういうことなんか」と少し楽になったが、でもやはり実際の信託となるともうちょっと難しそう。現実、いざ活用するにはもう少し勉強しないとできそうにない。（Kさん）